

Windows 11 初期設定ガイド

1. 初期設定ウィザード（初回起動時）

- Microsoft アカウントでのサインイン（推奨）→ OneDrive や Microsoft Store などがすぐに使えます。※ローカルアカウントでも可能ですが、機能制限があります。
- 言語・地域・キーボード設定
- Wi-Fi 接続設定

2. Windows Update の実行

- 設定 → Windows Update → 更新プログラムの確認
- 初回は大量の更新が入るので、何度か再起動を繰り返します。

3. セキュリティとアカウント

- ウイルス対策 → Windows 11 には「Microsoft Defender」が標準搭載されています。特別な理由がなければ有効化したままで OK です。
- PIN の設定（Windows Hello）→ サインインを安全・便利にするために推奨。
- BitLocker ドライブ暗号化（Pro 以上で利用可）→ 持ち出し PC なら有効化がおすすめ。

4. ドライバとメーカー独自ツール

- メーカーアプリで最新ドライバの確認 → Dell Update / HP Support Assistant / Lenovo Vantage など。

5. バックアップと復元の準備

- 回復ドライブの作成（USB メモリ）
- OneDrive 同期設定（文書やデスクトップを自動バックアップ可）

回復ドライブの作成手順（Windows 11）

- 事前準備
 - **USB メモリ**（16GB 以上推奨）を用意してください。
※作成途中で USB のデータはすべて消えるので、空のものを使いましょう。

-
- 手順
 - ① 回復ドライブツールを起動
 1. スタートボタン（左下の **Windows** マーク）をクリック
 2. 検索窓に「回復ドライブ」と入力
 3. 「回復ドライブ（アプリ）」を選択
-

- ② ユーザー確認
 - 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と出たら
→ はい をクリック
- ---
- ③ オプション選択
 - 「システムファイルを回復ドライブにバックアップします」に **チェック**を入れる (推奨)
→ 次へ
- ---
- ④ USB メモリの選択
 1. 挿した USB メモリが表示されるので、選択
 2. 「次へ」→「作成」をクリック
- ---
- ⑤ 作成開始
 - コピーが始まります (30 分～1 時間ほどかかることもあります)
 - 終了したら「完了」をクリック
- ---
- 作成後の注意
 - USB メモリのラベルに「回復ドライブ」と分かるように書いて保管
 - PC に不具合が出たときに、この USB から起動して修復ができます
(BIOS/UEFI で「USB 起動」に切り替える必要があります)

6. 利便性向上の設定

- スタートメニューとタスクバーのカスタマイズ
- 不要なアプリのアンインストール (例: ゲームや試用版ソフト)
- 既定ブラウザの設定 (Edge → Chrome/Firefox などに変更可)
- 日本語入力 (IME) の設定 (キー割り当てや変換方式を自分好みに)

7. 必要ソフトのインストール

- Office (Microsoft 365) または代替ソフト (LibreOffice 等)
- PDF 閲覧ソフト (Adobe Acrobat Reader など)
- ブラウザ、会計ソフト、業務ツールなど

まとめ

最初に必ずやってほしいのは **Windows Update** と **セキュリティ設定** です。その後は仕事用・個人用に合わせてアプリや環境を整えるとスムーズです。